

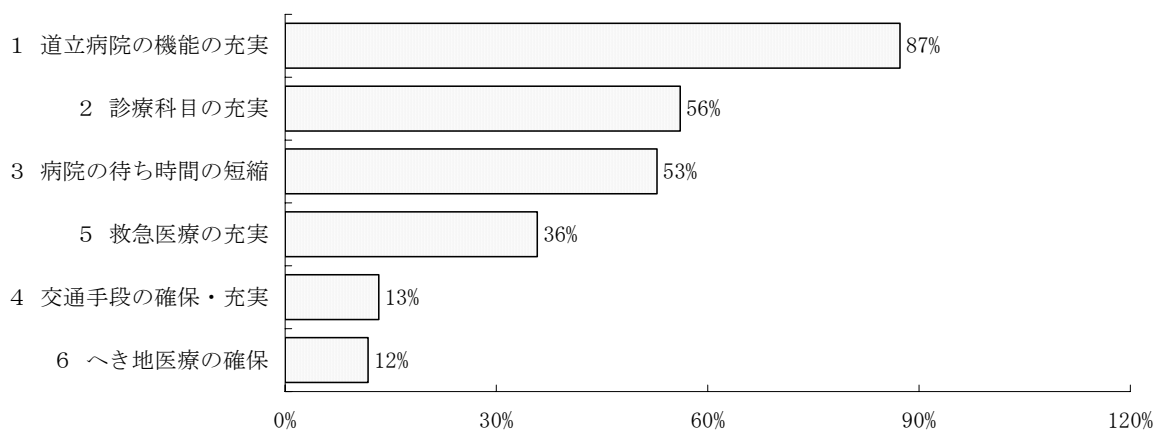
第4節 保健・医療・福祉について

問10 あなたは、市内の医療について、特にどのような要望をお持ちですか。【〇は3つまで】

	問2 年齢（再区分）						合計	
	10～30歳代		40・50歳代		60歳以上			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 道立病院の機能の充実（小児科、産婦人科、精神科など）	239	88.5%	364	88.6%	375	85.6%	1,001	87.3%
2 市内の医療機関の診療科目の充実	159	58.9%	230	56.0%	245	55.9%	644	56.1%
3 病院の待ち時間の短縮	138	51.1%	198	48.2%	253	57.8%	606	52.8%
4 市内の医療機関への交通手段の確保・充実	18	6.7%	53	12.9%	75	17.1%	152	13.3%
5 救急医療の充実	95	35.2%	172	41.8%	133	30.4%	411	35.8%
6 郊外地区でのへき地医療の確保	33	12.2%	43	10.5%	53	12.1%	135	11.8%
7 その他	19	7.0%	20	4.9%	13	3.0%	52	4.5%
8 特に要望はない	3	1.1%	2	0.5%	7	1.6%	12	1.0%
無回答	3	1.1%	11	2.7%	2	0.5%	19	1.7%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

地域医療への要望については、回答者全体では「道立病院の機能の充実」が87%と圧倒的に高い割合となっており、続いて「市内の医療機関の診療科目の充実」が56%、「病院の待ち時間の短縮」が53%などとなっています。
この設問については、年齢区分による傾向の大きな違いはみられません。

地域医療への要望（割合が高い順に掲載）



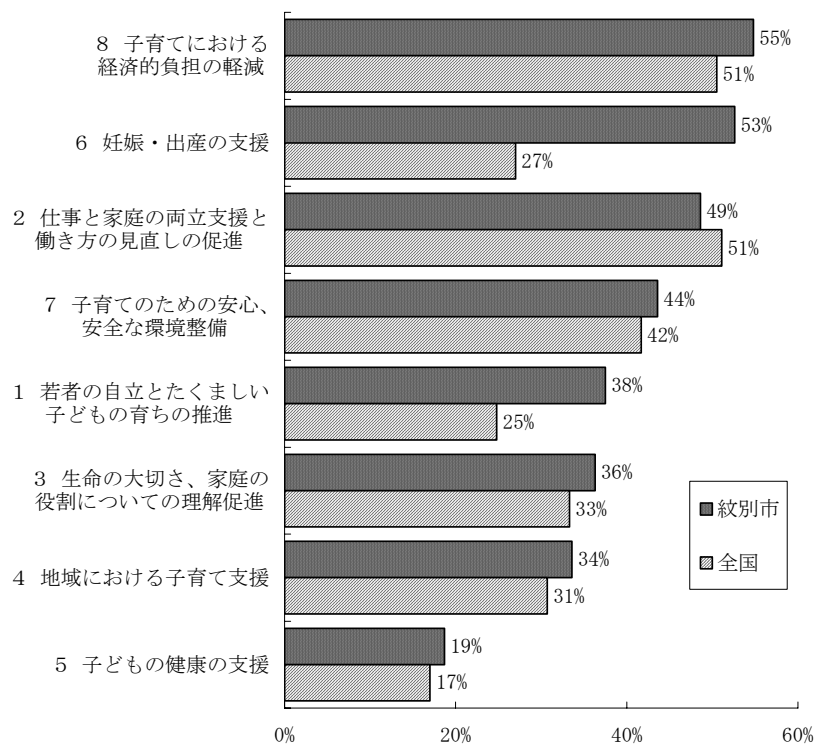
問 11 少子高齢化が進んでいます。行政が行う少子化対策に関して、あなたが特に期待する施策はどのようなものでしょうか。【〇はいくつでも】

	問 2 年齢（再区分）						合計	
	10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
1 若者の自立とたくましい子どもの育ちの推進	69	25.6%	150	36.5%	193	44.1%	430	37.5%
2 仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進	146	54.1%	213	51.8%	188	42.9%	558	48.6%
3 生命の大切さ、家庭の役割についての理解促進	63	23.3%	119	29.0%	221	50.5%	416	36.3%
4 地域における子育て支援	99	36.7%	136	33.1%	136	31.1%	385	33.6%
5 子どもの健康の支援	60	22.2%	53	12.9%	93	21.2%	215	18.7%
6 妊娠・出産の支援	175	64.8%	209	50.9%	208	47.5%	603	52.6%
7 子育てのための安心、安全な環境整備	123	45.6%	150	36.5%	211	48.2%	500	43.6%
8 子育てにおける経済的負担の軽減	195	72.2%	220	53.5%	196	44.7%	628	54.8%
9 その他	15	5.6%	27	6.6%	11	2.5%	54	4.7%
10 特になし	4	1.5%	6	1.5%	15	3.4%	25	2.2%
11 わからない	3	1.1%	7	1.7%	15	3.4%	25	2.2%
無回答	1	0.4%	12	2.9%	15	3.4%	29	2.5%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

少子化対策に期待することについては、回答者全体では「経済的負担の軽減」や「妊娠・出産の支援」、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」の割合が高くなっており、若い層ではその割合がさらに高くなっています。

国の「少子化対策に関する特別世論調査」（平成 16 年 10 月）と比較すると、「妊娠・出産の支援」と「若者の自立とたくましい子どもの育ちの推進」で本市の回答割合が高くなっています。

少子化対策に期待すること（割合が高い順に掲載）



問 12 あなたは、現在、健康づくりのため、どのような施設を利用していますか。

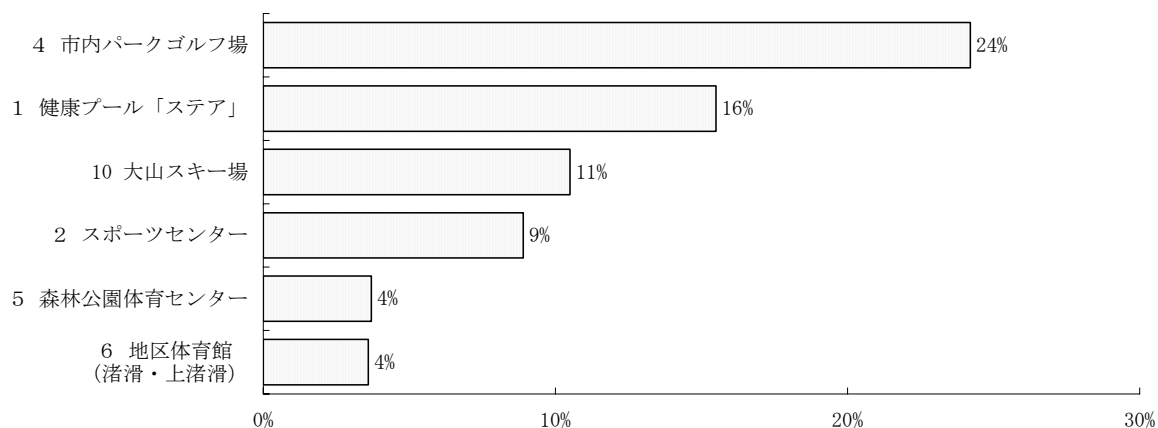
【〇はいくつでも】

	問 2 年齢（再区分）						合計	
	10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 健康プール「ステア」	50	18.5%	66	16.1%	60	13.7%	178	15.5%
2 スポーツセンター(各種スポーツ教室など)	39	14.4%	32	7.8%	30	6.8%	102	8.9%
3 運動公園テニスコート	7	2.6%	8	1.9%	4	0.9%	19	1.7%
4 市内パークゴルフ場	14	5.2%	86	20.9%	172	39.3%	278	24.2%
5 森林公園体育センター	14	5.2%	14	3.4%	14	3.2%	43	3.7%
6 地区体育館（渚滑・上渚滑）	19	7.0%	13	3.2%	9	2.1%	41	3.6%
7 武徳殿	1	0.4%	2	0.5%	5	1.1%	8	0.7%
8 そよかぜほーる	5	1.9%	3	0.7%	17	3.9%	25	2.2%
9 オホーツク紋別球場	4	1.5%	8	1.9%	5	1.1%	17	1.5%
10 大山スキー場	52	19.3%	39	9.5%	26	5.9%	120	10.5%
11 市営スケートリンク	4	1.5%	8	1.9%	3	0.7%	16	1.4%
12 市内ゲートボール場	1	0.4%	0	0.0%	10	2.3%	11	1.0%
13 ソフトボール場(港湾緑地)	3	1.1%	10	2.4%	4	0.9%	18	1.6%
14 陸上競技場	9	3.3%	6	1.5%	7	1.6%	22	1.9%
15 学校開放施設	9	3.3%	9	2.2%	6	1.4%	24	2.1%
16 その他	51	18.9%	82	20.0%	87	19.9%	225	19.6%
無回答	94	34.8%	150	36.5%	158	36.1%	417	36.4%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

市内の健康づくり施設の利用状況は、回答者全体では「市内パークゴルフ場」が24%、「ステア」が16%、「大山スキー場」が11%などとなっており、「市内パークゴルフ場」は「60歳以上」の方の約4割が、「大山スキー場」は「10～30歳」の方の約2割が利用しています。

また、「無回答」がいずれの年齢区分でも3割強であり、どの年齢層の方もおおむね6割強の方が市内の健康づくり施設を利用していると推測されます。

健康づくり施設の利用状況（割合が高い順に第6位まで掲載）

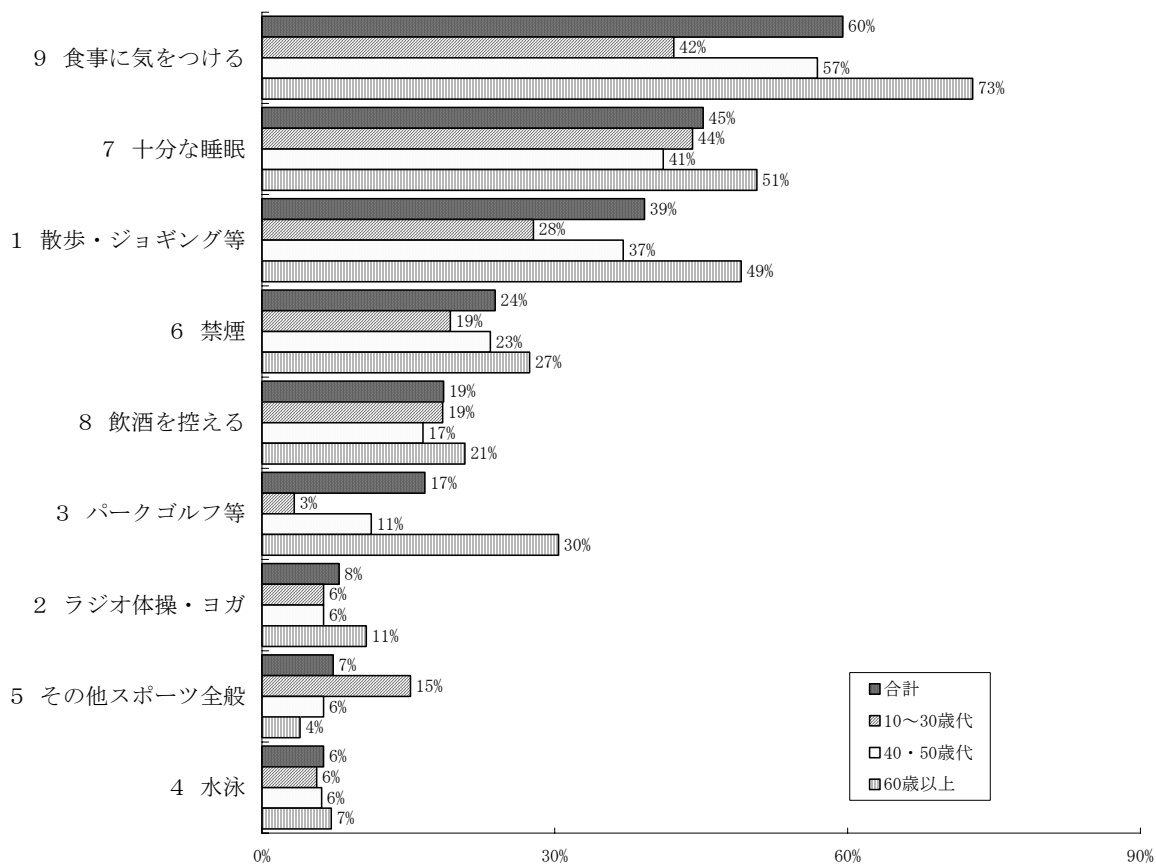


問 13 あなたは、どのような健康づくりに取り組んでいますか。【〇はいくつでも】

	問 2 年齢（再区分）						合計	
	10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 散歩・ウォーキング・ジョギング	75	27.8%	152	37.0%	215	49.1%	450	39.2%
2 ラジオ体操・ヨガなど	17	6.3%	26	6.3%	47	10.7%	91	7.9%
3 ゲートボール、パークゴルフ	9	3.3%	46	11.2%	133	30.4%	191	16.7%
4 水泳	15	5.6%	25	6.1%	31	7.1%	72	6.3%
5 その他スポーツ全般	41	15.2%	26	6.3%	17	3.9%	84	7.3%
6 禁煙	52	19.3%	96	23.4%	120	27.4%	274	23.9%
7 十分な睡眠	119	44.1%	169	41.1%	222	50.7%	519	45.2%
8 飲酒を控える	50	18.5%	68	16.5%	91	20.8%	213	18.6%
9 食事に気をつける(量、塩分など)	114	42.2%	234	56.9%	319	72.8%	682	59.5%
10 その他	17	6.3%	30	7.3%	27	6.2%	75	6.5%
無回答	33	12.2%	34	8.3%	22	5.0%	96	8.4%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

健康づくりのために取り組んでいることは、回答者全体では「食事に気をつける」が60%で最も割合が高く、続いて「十分な睡眠」が45%、「散歩・ウォーキング・ジョギング」が39%となっています。
年齢が高い層ほど、取り組んでいる割合が高い傾向がみられます。

健康づくりのために取り組んでいること（割合が高い順に掲載）



問 14 介護保険サービスや障害者保健福祉サービス、保育サービスなどは、税や介護保険料などを財源として運営されています。あなたは、こうした福祉サービスと住民負担のあり方について、どのようにお考えですか。【〇は1つだけ】

	問2 年齢（再区分）						合計	
	10～30歳代		40・50歳代		60歳以上			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 住民負担が高くなっても、必要な福祉サービスは充実していくべき	38	14.1%	64	15.6%	69	15.8%	174	15.2%
2 住民負担もサービスも標準レベル（全国平均など）をめざすべき	141	52.2%	219	53.3%	217	49.5%	587	51.2%
3 住民負担が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべき	17	6.3%	29	7.1%	48	11.0%	97	8.5%
4 わからない	49	18.1%	44	10.7%	54	12.3%	153	13.3%
5 その他	10	3.7%	25	6.1%	15	3.4%	50	4.4%
無回答	15	5.6%	30	7.3%	35	8.0%	86	7.5%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

福祉サービスと住民負担のあり方については、「住民負担もサービスも標準レベル（全国平均など）をめざすべき」という考えがどの年齢層でも5割前後で最も割合が高くなっています。「住民負担が高くなっても、必要な福祉サービスは充実していくべき」という考えはどの年齢層でも1割強で、「住民負担が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべき」という考えは、どの年齢層でも、それよりも少ない割合となっています。

福祉サービスと住民負担のあり方についての考え

